

患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、三思会臨床研究倫理委員会において審査され承認されています。この研究では、通常の診療で得られた情報の記録をまとめることによって行いますが、このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名	TAPP 術中所見から考える成人鼠径部ヘルニアに対する LPEC、および Advanced LPEC の適応拡大
研究機関	東名厚木病院
研究の目的	成人鼠径部ヘルニアにおける低侵襲手術（腹腔鏡下経皮腹膜結紮術、LPEC、Advanced LPEC）の症例検索を腹腔鏡下鼠径部ヘルニア根治術(TAPP 法)の術中所見から検討することを本研究の目的とする。
研究の方法	2023年04月から2028年12月までの約6年間に東名厚木病院消化器外科で施行した鼠径部ヘルニアに対する腹腔鏡下鼠径部ヘルニア根治術を受けた300名の患者様を対象とし、通常の診療業務を行う。この際、記録として残る手術動画から鼠径部のヘルニア発見時の所見として、JHS ヘルニア分類、外鼠径ヘルニア（L型）の有無、L型の場合、先天性か、denovo type A-C（滑脱型）の鑑別、ヘルニア囊のヘルニア門内への滑脱の有無、Secondary internal ring(SIR)の下脚の有無、IPT(腸骨恥骨靭帯)有無、外側台計上変形の有無などの所見を観察し、LPEC、および Advanced LPEC（腹腔鏡下経皮的腹膜結紮術）の施行の可能症例の検索を行う。
個人情報の取扱い	すべて臨床情報は匿名化され、院内のPCのみで管理を行う。
問い合わせ先	東名厚木病院 消化器外科 田澤賢一

作成日：2024年9月25日